

介護予防デイサービス事業所によるアウトリーチ実践の意義

ー職員へのインタビュー調査からー

○高知県立大学 氏名 山本 大輔 (会員番号 9710)

キーワード3つ：アウトリーチ、ネットワーキング、仲介

1. 研究目的

何らかの生活上の問題を有しているにもかかわらず、必要な支援を受けられない状況に置かれている人に対し、支援者がアウトリーチすることで制度やサービスに結びつけることがある。アウトリーチとは、「自ら援助を求めようとしないクライアントに対して、援助を利用してみようという動機付けをたかめることで、サービス利用や問題解決行動を促すための援助技術」（福富 2011）のことである。ここいうアウトリーチは個別の訪問活動を中心としたニーズの掘り起しや情報提供が中心となっている。その一方で地域を対象としたアウトリーチに乏しいこと（玉木 2006）や、介護施設のおこなうアウトリーチの乏しいこと（井上、岡本 2011）などの課題が指摘されている。カーラ・マイリーとブレンダ・デュボワは、ソーシャルワーカーがマクロレベルでおこなうアウトリーチの意味として「市民を相手に、社会問題、不正義、ソーシャルサービスについての教育」をあげ、「市民が社会問題と、これに関連するソーシャルサービスについての知識を広げられるよう支援する」必要性を述べている（デュボワ、マイリー 2017）。高齢者福祉分野をみても男性であることや貧困の問題から制度やサービスの利用を敬遠し事態の悪化を招くケースが存在する。その際、単なる情報提供のアウトリーチだけではスムーズな支援に結びつきにくいことがある。そこには本人のみならず地域全体に対する日頃からの制度やサービスの存在の周知であったり、地域住民とサービス事業所の職員との関係性の構築が必要であると考えたのである。

そこで本研究は介護事業所による地域に対するアウトリーチの実践例からその意義を考察することを目的とする。介護事業所が日頃から積極的に地域住民と関係性を築くことは、その事業所がより身近な存在と認知され、支援につながりにくい人も抵抗なくそのサービスを利用することが可能になるのではないかと考えた。そこで本研究は積極的に地域住民とかかわりをもつ介護事業所の取り組みを調査し、その内容と意義を考察していきたい。

2. 研究の視点および方法

本研究ではアウトリーチに取り組む介護予防デイサービス事業所（以下、A事業所）の職員へのインタビュー調査を実施した。そこでは事業所と地域の状況や実施した取り組み内容、アウトリーチの効果と思われる事例などを聴取した。インタビュー内容はICレコーダーに録音し内容を文字起こしし、質的記述的分析法により分析し考察をすすめた。

3. 倫理的配慮

本研究は日本社会福祉学会の研究倫理規程を遵守し実施している。また研究実施にあたり高知県立大学研究倫理審査委員会の承認を受けている（承認番号 全社研倫 24-8）。また本報告に際して開示すべきCOI（利益相反）はない。

4. 研究結果

分析の結果、A事業所のアウトリーチの意味を①ニーズの掘り起し、②ネットワーキング、③参加の促進の3つカテゴリーに整理した。

まず①について、A事業所のソーシャルワーカーはボランティアとの協働から関係性を築き、地域の福祉ニーズの把握に努めていた。また②では関係機関とイベントの共催を通じて連携しやすい状況を作っていた。それは利用者への支援でもスムーズな連携を実現していた。さらに③では、SNSを活用し事業所の存在や取り組みを広く周知し、新たなサービス利用者やボランティアとしての参加を促進していた。A事業所のソーシャルワーカーは地域に向けた関係づくりや情報提供を展開しながら福祉ニーズを把握していたことが明らかになった。

5. 考察

調査から、A事業所のソーシャルワーカーはアウトリーチを通じて、支援を必要とする人に対し仲介者の役割を果たしていると考えた。介護保険制度のもとで利用者は、ケアマネジャーの紹介を受けてサービス利用を開始するため、事業所側が積極的にアウトリーチをするメリットは薄い。しかし自ら支援の必要性を表明することの困難な人や福祉サービスの利用に消極的な人にとって、知らない場所に出向いて支援を受けることのハードルは高い。A事業所のアウトリーチには、そのハードルを下げる効果がある。今回調査したアウトリーチには、クライアントと社会資源を結びつける仲介の方法を示唆している点で意義がある。

文献

玉木千賀子「地域包括支援センターにおけるアウトリーチの現状」『沖縄大学人文学部紀要』第9号 沖縄大学 2006年 pp.103-118

井上信次、岡本宣雄「特別養護老人ホームの待機者調査にみる待機者及びその介護者へのアウトリーチの必要性」『川崎医療福祉学会誌』Vol.20 川崎医療福祉大学 2011年 pp.331-345

ブレンダ・デュボワ、カーラ・K・マイリー著、北島栄治監訳、上田洋介訳『ソーシャルワーク 人々をエンパワメントする専門職』明石書店 2017年 p.322